

科目名		電気磁気学Ⅰ ElectromagneticsⅠ		担当教員	正本利行		
学 年	3 年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分 野	専門	授業形式	講義	科目番号	17235010	単位区別	学修
学習目標	電気磁気学は情報通信工学の基礎となるものである。その理論や考え方の知識なくしては現在の電子・通信機器を理解することはできない。そこで本科目では、静電気と抵抗についての電気磁気現象の基礎を理解できるようにする。また、それに関する数学的な取り扱い方を習得する。						
進め方	教科書に沿った講義を行う。基本理論および基本的な例題は講義で行い、練習問題として各章末の演習問題をいくつか選びレポートとして課す。また、小テストを行い、理解を確認する。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 物質と電荷(2) 2. クーロンの法則(2) 3. 電界と電気力線(2) 4. 電位差(2) 5. 電位(2) 6. 問題演習(4) ----- [前期中間試験](1)			クーロンの法則の説明と計算ができる。 D2:1-2 電界、電位、電気力線の説明 と計算ができる。 D2:1-2			
	7. 答案返却・解答(1) 8. 等電位面と電位の傾き(2) 9. ガウスの法則1(2) 10. ガウスの法則2(2) 11. 帯電導体の電荷分布と電界(2) 12. 静電界の計算(2) 13. 電気双極子と電気二重層(2) 14. 電気映像法(2) ----- 前期末試験			電位から電界を求めることができる。 D2:1-2 ガウスの法則を用いて、電気現象 の説明や電界の計算ができる。 D2:1-2 導体表面の電荷密度、電界の計算ができる。 D2:1-2			
	15. 答案返却・解答(1) 16. 導体系(2) 17. 静電しゃへい(2) 18. 静電容量(4) 19. コンデンサの接続(2) 20. 静電界におけるエネルギーと力(2) 21. エネルギーと帯電体に働く力(2) ----- [後期中間試験](1)			静電容量の説明、計算ができる。 D2:1-2 合成静電容量の計算ができる。 D2:1-2 静電エネルギーの説明、計算ができる。 D2:1-2			
	22. 答案返却・解答(1) 23. 誘電体と比誘電率(2) 24. 誘電体中のガウスの法則(4) 25. 誘電体境界面での境界条件(2) 26. 誘電体中に蓄えられるエネルギーと力(2) 27. 電流(2) 28. オームの法則と抵抗、ジュールの法則(2) ----- 後期末試験			誘電体と分極、電束密度を説明できる。 D2:1-2 誘電体と誘電率を理解する。 D2:1-2 誘電体中のガウスの法則を理解する。 D2:1-2 境界条件を理解する。 D2:1-2 誘電体中のエネルギーを理解する。 D2:1-2			
	29. 答案返却・解答(1)						
評価方法	試験80％，レポート・小テスト20％で評価する。						
履修要件	特になし。						
関連科目	基礎電気工学(1年) → 電気磁気学Ⅰ(3年) → 電気磁気学Ⅱ，電波伝送学(4年) → アンテナ工学(5年)						
教 材	教科書：安達三郎・大貫繁雄 著 「電気磁気学【第2版・新装版】」 森北出版 演習書：大貫繁雄・安達三郎 著 「演習電気磁気学【新装版】」 森北出版						
備 考	学修単位であるため自宅学習を必要とする。 オフィスアワー：毎週火曜日 16:00～17:00						